

■徳田秋声 小説家。自然主義で第一人者となり、危機に陥るも、心境小説で復活、戦時下に庶民的反骨示すも挫折。
とくだしゅうせい
廃藩置県・・・1871＝ 金沢市で、金沢藩家老横山家の家人の家系ながら、維新後に落ちぶれた徳田雲平の三男に生まれる。母は父の4番目の妻タケで、4人の異腹の兄妹があるなど複雑な家族構成だった。

明治6年政変 1873＝ 2歳：以後、市内で転居繰返しながら、

琉球処分・・・1879＝ 8歳：養成小学校に入学、
・・・・・・1880＝ 9歳：
明治14年政変 1881＝10歳：

岩倉具視没・1883＝12歳：尋常科を卒業し、
秩父事件・・・1884＝13歳：金沢区高等小学校に入学、

帝国大学始・1886＝15歳：卒業し、石川県専門学校に入学。

初の対等条約1888＝17歳：_学齡改革で第四高等中学校に移るも、文学を志して、
帝国憲法発布 1889＝18歳：

足尾鉋毒始・1891＝20歳：_父が死去すると、中退し、
大本教・・・1892＝21歳：_同郷の桐生悠々とともに上京、尾崎紅葉の門を叩くが、受け入れられず、
郡司千島探検1893＝22歳：失意のうちに帰郷。自由党機関誌{北陸自由新聞}の編集に従事。
日清戦争始・1894＝23歳：第四高等学校への復学試験も放棄し、長岡で、{平等新聞}記者となる。
日清戦争終・1895＝24歳：_再度上京、博文館に勤務するかたわら、泉鏡花のすすめにより紅葉門下に加わり、
白馬会・・・1896＝25歳：_*{文芸倶楽部}に発表した短編「薮かうじ」が注目され、文壇にデビューする。

子規句歌革新1898＝27歳：
Bushidou・・・1899＝28歳：{読売新聞}に入社、胃弱に苦しむ中、
ピノ/国産化・1900＝29歳：紙上に_長編「雲のゆくへ」を連載し、好評を得たものの、同門の鏡花や小栗風葉ほどの人気はなかったが、
田中正造直訴1901＝30歳：長姉が死去。
教科書疑獄・1902＝31歳：東京に初めて家を構えて直ぐに、手伝いの娘はまを知って同棲し、
日比谷公園・1903＝32歳：長男が誕生。_紅葉が死去。

日露戦争終・1905＝34歳：長女が誕生。{北国新聞}に「わかき人」連載。以後、同紙に「秘密の秘密」「煩悶」「順運逆運」など次々寄稿。
満鉄発足・・・1906＝35歳：森川町に転居、以後生涯をここに過す。
韓国反日暴動1907＝36歳：西園寺公望首相の自邸での会(のちの{雨声会})に招かれ、以後数回出席。
アラビヤ 創刊・1908＝37歳：_高浜虚子の依頼で{国民新聞}に連載した中編「新世帯」や、

韓国併合・・・1910＝39歳：_ {読売新聞}に連載した「足迹」が好評で、文壇の一線に立ち、
大逆事件判決1911＝40歳：次女が誕生。_*夏目漱石の推薦で{東京朝日新聞}に「懺」を連載して、自然主義の代表的作家となる。
明治天皇没・1912＝41歳：次男が誕生。
大正政変・・・1913＝42歳：_ {国民新聞}に「爛」連載、

21ヶ条要求・1915＝44歳：四男が誕生。_ {読売新聞}に「あらくれ」連載、{東京朝日新聞}に「奔流」連載と、力作を相ついで発表。
民本主義・・・1916＝45歳：長女が疫病で夭折、その体験「犠牲者」を{中央公論}に発表。母危篤に帰郷するも、臨終に間に合わず。
ロシア革命・1917＝46歳：(東京日日新聞)に「誘惑」を連載、好評で新派劇や映画化され、以後、家計を支えるべく通俗小説を乱作、
本格政党内閣1918＝47歳：三女が誕生。

大暴落・・・1920＝49歳：田山花袋とともに、生誕50年を祝われる。
原敬首相暗殺1921＝50歳：長兄が死去。菊池寛らと小説家協会を設立。

関東大震災・1923＝52歳：婦女誘拐事件起こした同郷の者の弁護に奔走。姪の結婚式で帰郷中に大震災が起き、帰京に苦勞。
護憲三派圧勝1924＝53歳：_ {改造}に心境小説の傑作「風呂桶」を発表。
治安維持法・1925＝54歳：前年帰省中に滞在した茶屋営む遠縁の清川イトをモデルした_「挿話」を{中央公論}に発表。
円本時代始・1926＝55歳：_妻が脳溢血で急逝、弟子の山田順子との恋に陥り、以後数年続く一方、作家としての危機になる。

海軍軍縮条約1930＝59歳：普通選挙に社会民衆党から立候補の要請あるも、次兄の反対で断念。
満州事変・・・1931＝60歳：三男が死去。小石川白山の芸妓小林政子(「縮図」のモデル)を知って、創作意欲が再び起こり、
五一五事件・1932＝61歳：次姉が死去。
国際連盟脱退1933＝62歳：_*{経済往来}に連載の心境小説「町の踊り場」を川端康成に激賞され、奇蹟の復活。三木清らが結成した{学芸自由同盟}の会長に就任。

帝人疑獄事件1934＝63歳：次兄見舞で帰郷の際、小林政子を呼出して、山代温泉で同宿。
芥川直木賞始1935＝64歳：_以降3年をかけ、“順子もの”といわれる作品群を集大成した「仮装人物」を{経済往来}に連載、
二二六事件・1936＝65歳：次女が結婚。次兄が死去。_頸動脈中層炎で倒れ危篤に陥るも回復、執筆再開のなか、短編集「勲章」で第2回文芸懇話会賞。「秋声全集」の刊行も始まる。
日中戦争始・1937＝66歳：_帝国芸術院会員。
健保+総動員 1938＝67歳：{婦人之友}に自伝小説「光を追うて」連載開始。
第二次大戦始1939＝68歳：長男が結婚。四高同窓会に出席し、首相になった阿部信行大将に会う。_「仮装人物」で第1回菊池寛賞。
大政翼賛会・1940＝69歳：三姉が死去。
日米開戦・・・1941＝70歳：次男が結婚。_*戦時下に庶民的反骨示す「縮図」を{都新聞}に連載始めるも、情報局の弾圧で中絶となり、
・・・・・・1942＝71歳：実妹が死去。結成された_日本文学報国会の小説部会長に就任したが、
創価学会検挙1943＝72歳：三女が結婚。肋膜癌で_没した。